

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 377 号	氏名	後藤 久貴
学位審査委員	主査	中島 正洋	
	副査	山下 俊一	
	副査	松山 俊文	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、ヒト成熟骨髄脂肪細胞由来 Receptor Activator for NF-κB Ligand (RANKL)の破骨細胞分化促進作用について、in vitro で検討したものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 33 例の人工股関節置換術後に採取した骨髄液より骨髄脂肪細胞を分離し、RANKL 遺伝子発現と Dexamethason (DEX) 添加がそれらの発現に与える影響を Real time RT-PCR 法で観察した。骨髄脂肪細胞と前駆破骨細胞との共培養により分化促進される破骨細胞の機能的評価は、TRAP 染色と von Kossa 染色で観察される骨吸収能により検討した。さらに、共培養による破骨細胞分化促進に対する細胞間接触の重要性と抗 RANKL 抗体による分化抑制効果を解析しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 採取骨髄脂肪細胞での RANKL 発現と DEX による RANKL 発現促進効果が確認された。共培養による破骨細胞の分化促進効果は細胞間接触条件下で認められ、破骨細胞のもつ骨吸収能は DEX 添加により促進、さらに抗 RANKL 抗体により抑制することを示した解析結果と、骨髄脂肪細胞の破骨細胞分化制御に関する考察は高く評価される。</p>			
<p>以上のように、本論文はステロイド骨粗鬆症の病態生理や骨代謝の制御機構の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			